

# 一般質問

令和2年12月開催の定例会にて、6名の議員が村政について質問を行いました。その内容を一部抜粋してご紹介します。



前田 寿夫  
議員



獣害対策は  
どのような状況か

**問** 昨年の台風により、壊された罾の状況、また、新島山に登るための登山道の件で進展はあったのか？

**答** 台風15号、19号により、柵や罾に大きな被害を受けたが、捕獲隊の見回りで罾の掛け直しや新規に変更したりして、ほぼ台風前と同じ位に罾の台数は戻っていると考えられる。

また、新島山の機材搬送のための登山道については、東京都にモノレール購入の要望をしたが、対象とはな



新型コロナウイルス  
感染症の対策は

**問** これからの時期、インフルエンザ風邪等の季節でのコロナ対策はいかにしていくのか？

**答** 寒い時期のインフルエンザ、風邪の症状はコロナウイルス感染症と非常に似ている。両診療所は、このような症状をもった患者に対し、本人は元より、家族

らず、今後、治山事業等のタイミングで、対応可能か、また一定期間リース等で機材をまとめて、山の上に運び保管することができないか検討している。捕獲隊の高齢化等もあり、特に新島山での作業は体力的にもきつい面があり、何らかの対応が必要と考えている。

全員の状況や、感染拡大地域からの帰島、来島など、総合的観点からインフルエンザ検査、コロナウイルス抗原検査、またはPCR検査の実施により、早期発見治療に努める。

また、予防対策は今まで通り、「3つの密」密閉空間、密集場所、密接場面を避け、マスクの着用、手洗い、うがい、手指消毒等をしていただくことが必要。常日頃から十分な睡眠をとる、一人ひとりの健康管理が大切である。



▲獣害により山肌が露出した新島山

**問** 東京都によって、無電柱化や安全性に問題のある塀の更新の流れが進んできている。新型コロナウイルスの影響を考えると、少人数で密にならず、年間を通して穏やかな観光集客ができるような、観光地としてのまちなみ再生への投資が重要だと思われる。その際はコーガ石を軸にしたまちなみ整備が重要になってく



まちなみ再生を意識した各種事業の統合的実施について



木村 諭史  
議員

る。現状のこのような事業の課題と見込み、昨今の東京都の動向とも連動した取り組みの意向は？



▲無電柱化と景観整備をセットで行った好例。自主視察した倉敷市美観地区にて

**答**

現在、東京都において『無電柱化』への対応は飛行場入り口から平成新島トンネル入り口までの約1700mの都道沿いで、令和3年度からの5カ年計画で検討中である。

これに関わる村施設は電線共同溝の光ファイバーケーブルの入線のみで、共同溝以外の引き込みは村負担事業となることから、村の経費負担を含めて協議を進めているところだ。村独自の計画は無く、東京都主体事業への協力を進めていく。

コーガ石を活用したまちなみ再生については、特色ある街並みにおいてコーガ石は欠かせないと考えている。これまでも活用してきたが、今後もさまざまな活用方法を検討していきたい。



行政サービスおよび諸活動のオンライン対応の進捗状況と、円滑な導入を促進する情報共有体制について

**問** 長引く新型コロナウイルスの影響下、各分野においてますますオンライン対応への需要も増加し、かつその導入例が見えてきている。①行政内での推進状況 ②担当者を任命する意向 ③各課でのオンライン導入担当を定めて、横断型のチームを作る、などはいかが？

バンド）を導入する際に、協議会を立ち上げ、導入後の利活用を想定した意見交換をしていただと思うが、改めて地域全体での導入・習熟促進のために活動を再開してみてもいいか？

**答**

オンライン診療の一部導入については、電話での受診を実施したらどうかという検討結果に至ったが、病気の症状や種類による公平性の問題、処方日数、電話受付時間、選任医師の時間の確保、患者と対面しない診察等、さまざまな課題が多く、今のところ実施に至っていない。密を避けることは重要なことだと思いが、医師の体制を含めて慎重に検討していきたい。

行政内のオンライン利用進捗状況だが、さわやか健康センターではヨガ教室・リハビリ教室で利用している。

ヨガ教室は利用者の38%が登録し、オンライン参加率は利用者全体の20%になっている。予防リハビリ教室は健康センターと若郷会館の会場を月2回オンラインで繋いで実施している。

学校関係では、学校内の通信環境も整い、タブレット端末の導入を進める。企業

画調整室のリモート会議環境整備についてもタブレットの調達・設定が完了し、利用できるようになっていく。今後もツールとしての利用の仕方は検討していない。特に担当者は設けていない。



国のデジタル政策に村はどのように向き合っているのか？

問

政府は「デジタル庁」の新設に向けて準備を進めている。戦略として4つの柱を掲げ、国と自治体のシ



山本 均  
議員

ステム統一、マイナンバーカード普及促進、行政手続きのオンライン化、オンライン診療、デジタル教育の規制緩和となっている。これらを基に村の構想を伺う。



村内の産業のネット販売の進捗状況は？

問

政府は4月上旬、1ヶ月間の緊急事態宣言を発令し、並行して全国の自治体に感染症対応地方創生臨時交付金を支給した。村ではいくつかの事業を企画し、その一つに新型コロナウイルス対策ICT活用販路拡大事業がある。この現状の取り組みをお訊きする。

答

これは水産加工組合が管理運営する「特産品センター」を村の特産品販売のポータルサイトと位置づけ、店舗使用料と販売手数料

国が示している4つの柱は必要な施策と思う。法案が整備され、国からの指示でしっかり取り組んでいきたい。

料を助成して他業態の業者の参加を促し、ネット販売の売り上げの向上を目的に実施した。現時点での実績は10月末までの売上額が約390万円であり、前年度比171%、約160万円増となる。村が支援するこ

とで今までの水産加工事業者、地元醸造所に加え、農協、新島ガラス、鮮魚の販売も始まり、前向きな取り組みの助長ができつつある。



▲巣ごもり需要で売上也好調な楽天ショップ



新型コロナウイルス対策  
支援事業の今

**問** 9月定例会で予算化された新型コロナウイルス対策産業支援事業をお訊きする。村内6団体に計8千万円を支給するが、申請と交付決定、今後各団体の経営状況がどう進展していくのかその道筋を伺う。

**答** 各団体と個別説明をし、村の考えを示した。「将来にわたり持続可能な団体となるための取組」「団体間連携による効率効果的な取組」「会員へしつかり還元できる取組」などを主眼とし、「経常的な人件費への直接充当」「会員への直接的な金銭等の給付事業」は基本的に制限した。事業計画の内容は大枠として「会員への支援」「自立に向けた取組」「販路拡大・確保」「情報発信」「集客への取組」などがある。各団体ともに理事会等で将来に向けて真剣に議論されたことが感じられた。



Uターン者を  
増やすための奨学金の  
返還支援制度について

**問** 新島村の人口減少は著しい。自治体としての持続可能性が強く危惧される今、Uターンと同時に、Uターン者として家を守る子ども、島のために帰りたい子どもを増やせるように、奨学金返還を一部免除する奨学金返還支援制度の実施ができないか。村の考えを伺う。

小久保  
利佳  
議員

**答** 新島村の喫緊の課題は、人口減少に歯止めをかけ、増やしていく施策を講じていくこと。そのため村は、雇用や定住化支援、子育て支援などに取り組んでいる。提案の奨学金の返還支援制度が、若者が島に戻って働くきっかけや動機付けになり得るとしたら、可能性含め、検討したい。以前、検討してみた経緯があるが、職種を限定するか、



全てを対象とするか、全額免除か、一部免除か、定住の条件をどうするか、すでに償還を終えた方や償還中の方との公平性や扱いをどうするか、など、いろいろ課題を洗い出したものの、結論は出ないまま今日に至る。

全額免除か、一部免除か、定住の条件をどうするか、すでに償還を終えた方や償還中の方との公平性や扱いをどうするか、など、いろいろ課題を洗い出したものの、結論は出ないまま今日に至る。



▲島を離れる生徒への盛大な見送り

**問** 需要に応じて適宜修正し、利用者範囲も拡大されており、村の努力に敬意を表す。夫婦そろって受診される方たちが増えているが、病院が異なる等で、受診前後3日の規定により適用除外となるケースがある。制度対象の渡航が否かは資料徴求で判断できるため、制度要綱に例外条項を設ける等で救済できないか伺う。

**島外医療機関受診の交通費等助成について**



前田 泉 議員

**答** 制度開始後、来月で2年になる。今年度はコロナ禍の影響で利用者が減っていたが、9月以降増加している。今年度より高齢者の付添者も対象とし、三大疾病中心に、通院年齢撤廃と利用回数拡大、高齢世帯受診時の適用緩和措置を盛り込んでいる。今後も住民の意見を聞きながら助成制度を進める。また、広報で周知しているが、改正内容が職員、住民に浸透していないとの意見なので、改めて関係部署、住民に向け周知徹底を図る。

**専門診療等実施時の「にしき」運行について**

**問** 新島会場が主になることを式根住民も理解しているが、荒天時や待ち時間状況に応じて「にしき臨時便」を配慮いただくと、不満の解消に繋がると思うが、如何か。

**答** 専門診療は医師来島時間の都合で、受付午前9時、診療開始10時となっている。式根島受診者は主に「にしき」1便で来島されるが、新島受診者の中には順番待ちで朝6時頃から並ぶ人も多い。診療所では、式根島受診者が「にしき」2便でお帰りいただけるよう新島受診者に理解願ひ、優先して受診を開始していることを理解願ひたい。臨時便については、式根島受診者が多く、「にしき」2便に間に合わない受診者が多い場合、実績を踏まえて検討したい。

# 議会を見よう!

新型コロナウイルスの影響もあり、議場に足を運んでの傍聴に替え、インターネットでの視聴を強く推奨しています。この機会にぜひ視聴してみませんか？



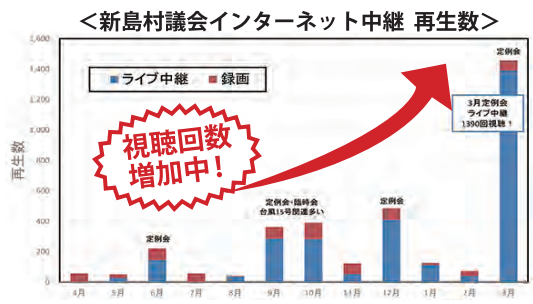
**スマートフォンの場合**  
QRコードリーダー(カメラ機能)で、左の画像を読み込むだけ!

**パソコンの場合**  
インターネットで「新島村議会 中継」で検索!

新島村議会 中継



新島村議会ウェブサイトではライブ中継だけでなく、録画もご覧いただけます。開催日や会議ごと、一般質問では議員ごとに視聴できるので、非常に便利です。





サメの調査と  
駆除について

**問**

野伏港棧橋でのサメの  
出没と釣魚被害が広く聞こ  
えた。野伏港沖で釣り上げ  
たサメは、体長約2.5メー  
トル、重量100キログラム  
を超え、翌日棧橋沖に投機の  
ところ、以後釣魚被害は無い  
が、駆逐状況は不明。

新島では棧橋以外の確認

はないが、釣魚被害は続い  
ており、漁業被害や夏期観  
光への影響が危惧される。

早期に都や国に調査と駆除  
を要望し、不可能な場合は  
独自の対策を講じる必要が  
あると思うが、如何に。

なお、従来駆除対象のサ  
メと今のサメとは違う旨、  
漁協幹部に確認している。  
近隣他島と協調して進める  
べきと思うので、併せて伺  
う。

**答**

新島での棧橋周りのサ  
メの出現は数年来見られ  
る。東京都と協調補助の漁  
協のサメ被害防除対策事業  
は、金目や赤いかの食害防  
除を主としたものであるた  
め、今後浅場での漁に影響  
出る場合は、他魚種も対象  
とするなど漁協と協議す  
る。

サメの出現が海水浴場に  
近いため、注意の必要性は  
考えている。海水浴場に近



▲駆除のため、野伏港棧橋沖で式根島の有志が釣り上げたサメ



コロナ罹患者  
保護の徹底について

**問**

GO・TOキャンペーン  
以降コロナ感染者の拡大  
が続いているが、キャンペ  
ーンも規制緩和も、産業経  
済、日本を維持するために  
必要な決断だったと思う。  
全員が注意、用心ながら  
の活動、あるいは自粛とさ  
まざまだが、全てが正論で  
あり間違いは無い。

そんな中で島民が一番恐

づいてくる場合は、サメフ  
ェンスなどの対策も必要と  
なるので注視して行く。  
海水浴場は貴重な観光資  
源であるが、村単独での対  
応は困難なため、東京都と  
話し、地元漁協、島しょ漁  
協と連携し、町村会を巻き  
込んで進めて行くので今し  
ばらく猶予願いたい。

**答**

村でも感染者が出た場  
合を想定しており、防災無  
線でコロナ罹患者等に対す  
る誹謗・中傷等の人権侵害  
が無いよう引き続き周知し、  
文書での注意喚起も考えて  
いく。村民一人一人が、自  
分の家族や知人・友人が感  
染者となった場合を想定し、  
感染者の早期回復を温かい  
目で、静かに見守っていた  
だきたいと願っている。

れるのは、自家からコロナ  
罹患者が出ること。差別、  
誹謗・中傷関連のマスコミ  
報道、近隣他島の同様情報  
流布がこれを裏付ける。そ  
うならないためにも、職  
場、学校、家庭で話し合  
い、「もやいの精神で」、  
「人情と思いやりの心を持  
って」、島民一丸でコロナ  
禍に立ち向かう必要があ  
る。まずは役場が先頭に立  
って進めていただきたい。



## 綾とおる 議員



「住民福祉の増進」  
＝地方自治体の使命に  
基づいた予算編成を求める

**問** コロナ禍で商店・民宿・業者をはじめ村民のくらしが深刻な状況にある。村の来年度予算編成にあたり、福祉・介護・医療・教育などの住民サービスを切り捨てることのないよう求める。村の来年度予算編成の基

本方針、重点施策は？

**答** 「地方交付税」は人口減による影響で推計1億4千万円超の減額。予算編成にあたり「緊縮予算」が余



介護施設における  
PCR検査の優先的  
実施を求める

**問** 新型コロナウイルスの感染拡大は全国で過去最多を記録している。高齢者の感染

比率や重症化リスクが高まっている。東京都の補助事業を活用し、介護施設の職員・入所者に対するPCR検査の優

儀なくされるが、社会保障関連費など、住民生活に直接関係する施策は、遅延なく積極的に展開する。



インフルエンザ  
予防接種の取り組み  
について問う

**問** 新型コロナ対策としてのインフルエンザ予防接種につ

いて、ワクチン確保、高齢者の接種率など、事業の達成度

先の実施を求める。本土の病院を受診し帰島した村民に対し、希望者が検査できる体制確立を求める。

**答** 新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合、抗原検査、PCR検査を実施でき

る。東京都の補助事業は、法人（はまゆう会）が東京都に申請する事業。「はまゆう会」がPCR検査を行うとなれば、必要な支援をしていく。帰島した方に対して、診療以外の検査は厳しい。帰島前に都内での検査をお勧めする。



国保税値上げの  
凍結を求める

**問** 村民のくらしと営業が大変な時こそ、住民の負担を軽減すべきだ。村長は「国保運営協議会の審議に基づき判断

する」としてきた。村長は国保運営協議会に「国保税値上げの凍結」を諮問すべきだ。

**答** コロナ禍において住民

はどうだったか。

**答** 東京都の補助制度で、高齢者の接種負担額を無料とした。9月の受付時に「キャンセル待ち」の対応になったが、11月に追加ワクチンが確保でき、65歳以上の方の追加予約をとり、接種日も追加した。高齢者の接種率は、昨年55%から72%となり、助成の成果があった。



島外受診にかかわる  
交通費等の助成は、  
一日も早く全住民を  
対象とした制度へ

**問** 島外医療機関受診にか

かわる交通費等の助成について、村長は、「めざすところは全ての住民を対象にする」ことを幾度も表明してきた。一日も早く年齢制限を撤廃し、すべての住民が対象となる制度改善へ、村長の決断を求める。

**答** 今後も必要に応じ制度内容の検討をし、助成制度を進めていく。年齢制限の撤廃は現段階では考えていない。



交流継続・拡大を  
渋谷区との

**問** 渋谷区青少年センターが廃止されることとなった。一昨年度、延べ1701人が利用している。渋谷区は「新島村との交流の継続、来島する方への新たな事業（補助など）」を表明している。村として今後どのように対応するのか。

**答** 年間約1700泊を迎え、村の経済に大きく寄与してきた。すでに産業観光課と渋谷区子ども青少年課と協議を開始している。渋谷区では、これまでの宿泊助成と同程度の助成制度を考えており、新島・式根島宿泊者に助成する制度となる見込みだ。



式根島地区  
水道管更新計画の  
具体化を求める

**問** 式根島地区の水道管が老朽化し、更新時期を迎えていることは、村からも表明されている。給水設備は基本的インフラであり、重要なライフラインだ。更新計画はどうなっているか。

**答** 式根島地区において、下水道工事が着手されている。可能な限り他事業と併せ整備し、更新にかかわる経費削減に努めたい。補助金などの調整もあり、現在、具体的な計画はない。



AEDについて、  
ガイドラインに基づく  
運用を求める

**問** AEDⅡ自動体外式除細動器について、設置、掲示、

講習などガイドラインにもとづく取り扱いを求める。

**答** 設置個所施設管理者に連絡をはかる。学校へは、教育長を通じ徹底する。新島村ホームページのAEDマップの更新と併せ、設置個所について住民周知のための「お知らせ版」を配布する。



都事業も、  
村民生活に多大な影響

**問** 地鉾温泉の山腹崩落防止の安全対策工事、野伏港船客待合所トイレの改修工事の進捗状況を問う。村民生活や観光に多大な影響がある。

**答** 地鉾温泉安全対策改修工事は、階段下の道路両脇もモルタル吹付を行う。年度内完了となる。野伏港船客待合所トイレ改修工事は、便器洋式化と床の改修がメイン。年度内完了となる。



▲式根島中学校に設置されているAED。ガイドラインに基づく運用を



▲1日も早い改修が待たれる船客待合所トイレ